

少女 行



成人向
FOR ADULT ONLY

「うあああつ!!! く……つ来るな……つ!!
止めろ……この虫共がっ!!
やめろクソ……やめろおおおおおつ!!!

バジユラ達の母艦内部に

捕らわれたクランとミシエル。

VF-25は母艦からの触手に絡め取られ、

開閉の出来なくなった強固なキャノピーの下、

コクピット内部にミシエルは閉じ込められる。

一方バジユラ達はのし掛かる様にクアドランに集り付き、
ハッチをこじ開けクランを無理矢理引き摺り出した…。

クラン達を捕獲したバジユラは
ゼントランを凌辱、卵子を強制受精させ
母胎として利用する特殊な進化を遂げた固体群だった。

ゼントランを犯す事に特化した

無数の触手を備えた巨体に押さえ込まれ

スーツを剥ぎ取られていくクラン。

異形の虫に豊満な体を蹂躙されていく嫌悪感と共に、

皮膚に触れる粘液の、体の奥底に熱を摺りこんでいく様な
奇妙な感触に戸惑いを覚えるクランであった…。



「ん……ん……等……ん……
なんど……ん……な……ん……?
ねち……ん……ん……ん……ん……
く……あ……ふ……ん……♡う……あ……あ……♡

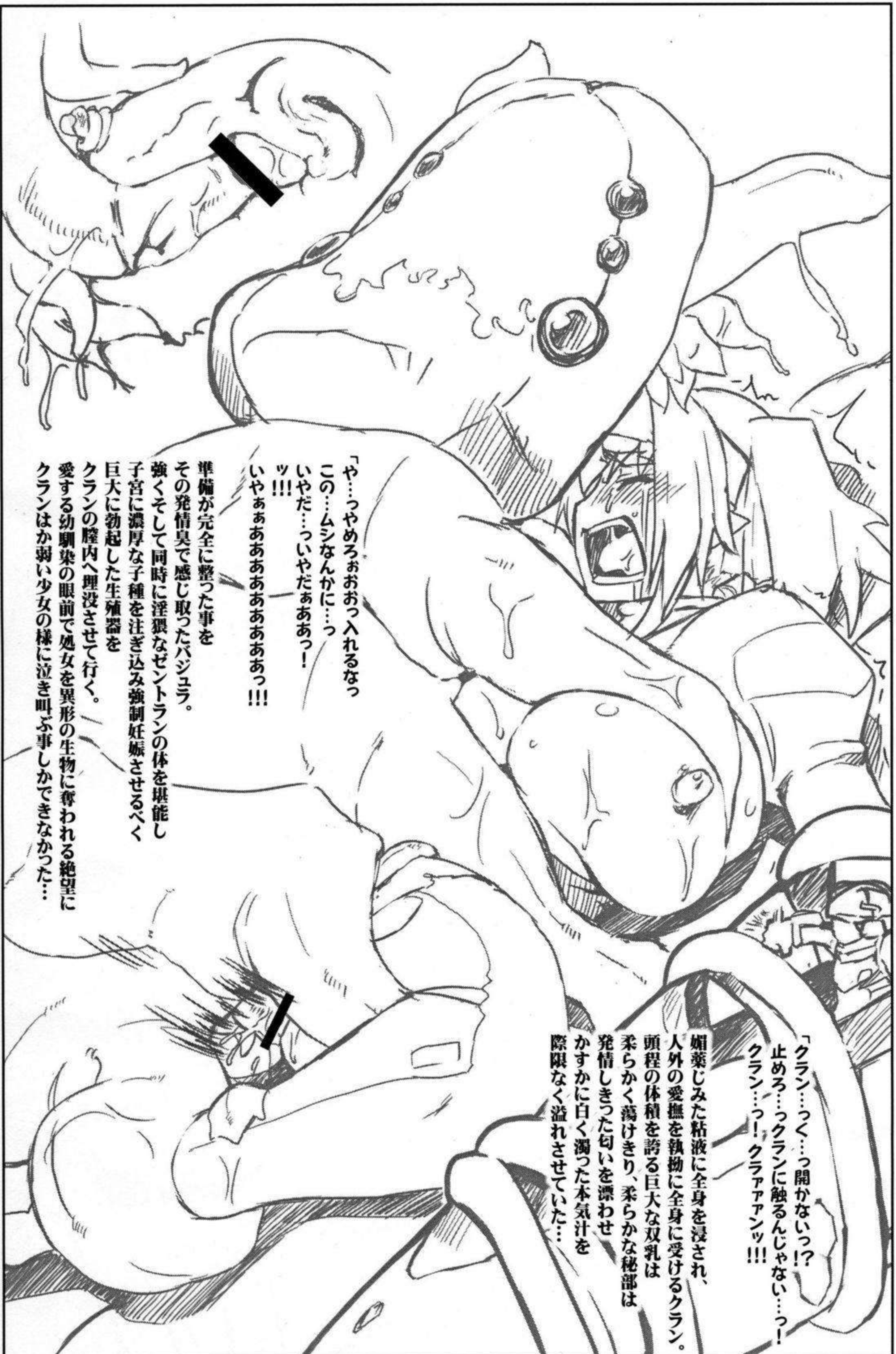
バジユラは的確にクランの性感帯を突き
嫌悪を露わにするその言葉とは裏腹に
豊かに実ったセントランの体を
確実に高ぶらせていく。

バジユラの繊細かつ
激しい舐め上げに拠つて
限界まで屹立させられた
特大の乳首は、
執拗な触手先のくすぐりに応え、
切ない位の快感をクランの
たわわな乳房に響かせていった……

「クラン……っく……っ開かないっ？
止める……っクランに触るんじやない……っ！
クラン……っ！クラァァァンッ!!!
媚薬じみた粘液に全身を浸され、
人外の愛撫を執拗に全身に受けるクラン。
頭程の体積を誇る巨大な双乳は
柔らかく蕩けきり、柔らかな秘部は
発情しきった匂いを漂わせ
かすかに白く濁った本気汁を
際限なく溢れさせていた……」

「や……っやめろおおっ入れるなっ
この……ムシなんか……っ
いやだ……っいやだあああッ！
ッ!!!
いやあああああああああッ!!!

準備が完全に整った事を
その発情臭で感じ取ったバジユラ。
強くそして同時に淫猥なセントランの体を堪能し
子宮に濃厚な子種を注ぎ込み強制妊娠させるべく
巨大に勃起した生殖器を
クランの膣内へ埋没させて行く。
愛する幼馴染の眼前で処女を異形の生物に奪われる絶望に
クランはか弱い少女の様に泣き叫ぶ事しかできなかった……



「うあっ♡なんでっ♡いやっ♡嫌なのになっ
だめっだめだあっ♡く…ううっ
そ…っ弾く…んあああっ♡ はらんんっ♡

処女を奪われた衝撃も束の間、
媚薬粘液によって強制的に発情させられた体を
無数の触手に弄られ

ありえない程の快感を注ぎ続けられるクラン。

その強烈な快楽に本能的に体を捻り

逃げ出そうとしてしまうクランだが、

バジユラはその巨体に似合わない俊敏さで雌を追い

豊満な体を背後から押さえつけ

秘部をしなやかな触手達でねっちりと同調し続ける…

クランの大粒のクリトリスも極細の触腕に
根元を絡め取られ揺すぶられた挙句、
更にもう一本の触腕で充血し切った突起の先を弾かれ出す。

破瓜の痛みも最早無く、
膣内を極太の生殖器に擦り上げられ、
クリトリスを触腕で揉み、舐めあげられる人外の愛撫に
クランは雌の甘い声を挙げ鳴き続ける事になる…



「おねがい……
みな……っみないでえ……っ
ミシエル……っミシエル……っ」

必死に立ち上がりバジユラの巨体を
振り払おうとするクランだが、
バジユラは柔軟に滑る脚を
豊満なセントランの体に
絡ませ執拗に犯し続ける。

後ろからしがみつかれ、
白く柔らかで肉付きの良い尻は
細かな触手に舐め揉まれる。
大柄な人間ほどもある巨大の生殖器に
ついさつきまで処女だった
クランの秘穴が激しく蹂躪されている。
媚薬に侵され蕩けきった腔口からは
絶え間なく愛液が噴き出し、
子宮はバジユラの生殖器を
歓迎するかのようになりきっていた……

絶頂の寸前まで追い詰められた状態で
懸命に凌辱から逃れようとするクランだが
そのしなやかな脚は生まれたての子鹿の様な
不安定さを露わにしガクガクと震えている。
その激しい反応がクランの味わっている
快感の強さを物語っていた……

「ミシエル……助けて……っ
私……もう……っ
だめ……だ……っ♡だめ……ええ……っ♡」



「まさかっ!? 嘘だ 止めろ…っ!
いやだ…っ! バジユラのなんて…っ!
いやだいやだいやだいやだいやだあああああ…っ!!!

生殖器の律動が一段と激しさを増し、
その根元が不吉な痙攣を始めた。
その動きが意味する事を悟ったクランは
絶望の淵に立たされ悲鳴を上げる。
しかしその体は激しい凌辱で否応無く感じさせられ、
一擦り毎確実に絶頂へと追い詰められていく…

「いやだミシエルの前でイきたくなんか
いやら…イきたくないっ
イっちゃ…っら…め…え…っ♡
はっんっ♡ ンおおおおおおおっ♡

「クランッ!!!
クラあああ…!!!

トドメになったのは子宮口に叩きつけられた
恐ろしく濃く、固体じみた
弾力を備えたバジユラの子種だった。
子宮に注ぎ込まれる精液に
発情させられきったクランは
愛する幼馴染の目の前で
涙と汗と涎に塗れた、
蕩け切ったアクメ顔を晒してしま…。
想い人の目の前で惨めに絶頂させられ
無理矢理孕まされるとい…う凄惨さに
凍としたクランの
女としての矜持も折れていく…。



「みないれ…みしえるう…
やら…ばじゅらのせいえき…ぶびゅぶびゅ…て…♡
はへえ…はへえええ…♡
やら…つなのにい…♡ おまんこ…きもちひい…♡
じゅぶじゅぶ…♡ おまんこのひだひだ…♡
コスってりゅつ♡♡

もうどれだけの間凌辱され続けたのか…
数え切れない程の数のバジユラに子種を注ぎ込まれ
クランは異形の子をその胎内に宿らされていた。

触手で揉み潰された、豊か過ぎる程の
双乳の先からは母乳を噴出させ、
生殖器で擦り上げられる膣内は
絶頂の痙攣を繰り返していく。

本能のままにセントランの
肉付きの良い体を貪り続けるバジユラ。
しかしクランもまた与えられる圧倒的な快楽に
完全に堕ちていた…

キヤノビーを叩き続けていた
拳も砕け万策尽きたミシエル
何物に変えても守るべきだった
愛しい幼馴染の、虫ケラに孕まされ
無惨に堕ちていく姿を絶望の中見つめながら、
無力にひたすら助けを待つ事…
それが彼に許された唯一の行為であった……

後書

えー

すみません仕上げの時間がさっぱり足りませんでした…

クランエロいよクラン
最初の登場シーンのクアドラン降った後の
おっぱいぶるんぶるんがもうやば過ぎだったり
凛々しい雰囲気がかこれでもかというくらいツボだったり
それなのにロリマイクロン化する
不自由な遺伝子に絶望したりしましたが
やっぱりいいですねクラン。

今回はミシェルとのらぶらぶも考えていたのですがは
なんかミシェルがでっかくなるのも設定的に無理との事で却下に。
それならば進化するという美味しい要素を手に入れてくれた
バジュー君大活躍の方向でって感じてこんな本になりました。

でも触手物になると線の数が多すぎて
クリンナップ+仕上げの時間が全然足りませんでした…
一枚絵なのに漫画1頁描いてる位時間掛かるなんて(´・ω´)
またコピー誌纏める際にはハルカ本みたいな感じで
仕上げた形で再録したいと思います…

こういう物理的にも精神的にも凛々しい女性が
幼馴染とかの前で寝取られとか最高ですね。うん。
またこういうのをねっちり描きたいッス。

えー

次の冬は今度こそ今度こそ『ねこたま下』で…
良い加減伸びすぎて申し訳ないっす
リスティ本も間に合えば良いけど…無理かなあ…？

まあそんな感じですので生暖かく見守って下されば幸いです。

ではではこれにてー

2008.8.17 瀬浦沙悟 拝

- 奥付 -

誌名： 「クラ誌」
発行日： 2008年8月17日
発行者： 沙悟荘
瀬浦沙悟
印刷： コピー誌

発行者連絡先：

E-mail： ser@fx.sakura.ne.jp
HPURL： http://www.fx.sakura.ne.jp/~ser/

禁・無断転載・複製

2008 SUMMER



SAGO-JO